島根県立大学
国際関係学部　国際関係学科
国際関係コース

令和９年度（2027 年度）
総合型選抜（自己推薦）

小論文

【解答時間　９０分】

以下の注意事項をよく読んで指示に従うようにしてください。
指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。許可なくこの問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 解答時間は 90 分です。
3. 試験問題は、1 ページから 5 ページにあります。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明な箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は 2 枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は 2 枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 試験時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題　下の文章を読んで、後の問いに解答しなさい。

（※　本文中には多様な歴史的人物や書物等が登場するが、本試験はそれらに関する知識の有無そのものを問うものではない。本文および注の記述を丁寧に読み取り、それらに基づいて思考し、論述しなさい。）

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

（出典：李暁東「近代の日中留学交流」土田哲夫編『近現代東アジアと日本：交流・相剋・共同体』中央大学出版部、2016 年、27－31 頁。なお、出題にあたっては本文の一部や見出しを省略し、一部の文言を改めるとともに、振り仮名や注を補った。）

問１ 下線部（A）について、ここで用いられている言葉の「発明」とはどのような意味であると著者は説明しているか。文章の内容に即して 180 字以内で説明しなさい。

問２ 下線部（B）について、まず「西欧の衝撃」が具体的に何を指すのかを簡潔に説明し、そのうえで、日中双方が互いの書物や雑誌などを通して西洋の知識や思想を受容した経緯を踏まえ、なぜその多くが「中国の衝撃」と「日本の衝撃」という形をとっていたといえるのかを、280 字以内で説明しなさい。

問３ 波線部について、本文で示されている「言葉の『発明』」「書物、雑誌による相互影響」「革命の策源地」の三点を踏まえ、なぜ日本と中国とは互いにとって「内なる他者」であるといえるのかを説明しなさい。そのうえで、この「内なる他者」という視点を踏まえ、「文化運搬者」の役割に着目しながら、近現代における日中関係、あるいは今後の両国関係についてあなたの考えを述べなさい。文章の内容を適切に参照しつつ、高等学校での地理歴史・公民科目を通したあなた自身の学びや経験も踏まえ、600 字以内で論じなさい。